

令和8年度埼玉県・さいたま市 病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修

目 的	・認知症の人の視点に立った、本人の生活を支える知識と方法を修得する。 ・早期発見・早期対応の重要性を理解する。 ・多職種連携の重要性とその活用についての方法を理解する。
開催日時	令和9年1月27日（水）13時～15時30分
開催方法	オンライン研修（Zoom 会議システム）
講 師	医療法人社団 松弘会 トワーム小江戸病院 精神科医師 長島 一公 氏 みさと健和病院 認知症看護認定看護師 青木 稔枝 氏
対 象	埼玉県内・さいたま市内の診療所、訪問看護ステーション、介護事業所に勤務する、看護師、歯科衛生士などの医療従事者 ※病院に勤務している方は対象外です ※さいたま市内に勤務の方は「さいたま市病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修」のサイトからお申し込みください。
定 員	埼玉県：124 名 さいたま市：26 名
受講費用	無 料
内 容	別紙 病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修 プログラムをご覧ください。
修 了 証	修了証が発行されます。 *修了証は後日、所属施設に郵送されます。
申込方法	公益社団法人埼玉県看護協会 研修申込みサイト【マナブル】よりお申し込みください。 【マナブル】に未登録の方は下記の手順でご登録ください。 埼玉県看護協会ホームページにアクセス > 教育・研修案内 > マナブル > 新規登録 > 手順に従い登録 > 登録完了後 研修申し込み *看護職以外の方は「看護協会非会員 新規登録」からご登録ください。
申込期間	令和8年11月1日から令和9年1月13日まで
その他	1. 受講決定は申込順とさせていただきます。満席になり次第申し込みを終了いたします。 2. 研修会受講方法や資料のダウンロード方法は、研修日の1週間前に【マナブル】に登録したメールにご連絡いたします。 3. 研修会当日、出席の確認ができない、講義時間中不在時間がある方（遅刻・早退・中抜け など）には修了証は発行されませんのでご注意ください。 4. マナブルにご登録いただいた情報をもとに修了証を作成いたします。ご登録の氏名がそのまま修了者名となりますので、変更や修正がある場合は事前に埼玉県看護協会へご連絡ください。 5. 申し込みの際の個人情報につきましては、申込者の同意なく第三者への提供及び他の事へ使用することはありません。 6. 本研修は埼玉県・さいたま市からの受託事業です。

【お問合せ】公益社団法人 埼玉県看護協会 一般研修 TEL 048-624-3300
 受付時間 9時～17時（土日祝日を除く）

令和8年度 病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修プログラム

研修目的・意義

- ・認知症の人の視点に立った、本人の生活を支える知識と方法を修得する。
- ・早期発見・早期対応の重要性を理解する。
- ・多職種連携の重要性とその活用についての方法を理解する。

開催日時：令和9年1月27日（水） 13時～15時30分

時 間	項目	研 修 内 容		講 師
13：00		開会あいさつ		埼玉県
13：05～ 13：30 (25分)	Ⅰ 知識編	ねらい	認知症の人や家族の視点に立ち、その生活を支えるために必要な基本的な知識を習得する。	医療法人社団 松弘会 トワーム小江戸病院 精神科医師 長島 一公 氏
		到達目標	・認知症の現状やその病態について、概要を説明できる。 ・認知症の早期発見・早期対応の意義を理解できる。	
		主な内容	・研修全体の目的・意義 ・認知症施策の推進について 認知症施策推進大綱 ・共生社会の実現を推進するための認知症基本法 ・認知症とは（概念 主な疾患の特徴 症状と経過） ・認知症予防と多職種アプローチ	
13：30～ 14：40 (70分)	Ⅱ 実践編	ねらい	認知症の人の QOL の向上を図るため、コミュニケーション、ケア及び多職種連携による支援の実際を理解する。	みさと健和病院 認知症看護認定看護師 青木 稔枝 氏
		到達目標	・認知症の人の意思を尊重したケアの基本を理解できる。 ・認知症の人や家族への支援のポイントを理解できる。 ・BPSD について理解し、その対応について理解できる。 ・認知症の人の支援にあたって、多職種連携の意義や方法を理解できる。	
		主な内容	・本人視点を重視したアプローチ ・意思決定支援の基本原則とプロセス ・認知症の人のケアとコミュニケーション ・アセスメントの留意点 ・パーソンセンタードモデル ・家族・介護者への支援 ・BPSD(認知症の行動・心理症状)対応の基本 ・認知症の非薬物的対応 ・多職種(他事業所間)連携の意義と実際	
休 憩 (10分)				
14：50～ 15：05 (15分間)	Ⅲ 社会資源編	ねらい	認知症の人を取り巻く、医療、介護及び地域の社会資源等の活用の重要性を理解する。	医療法人社団 松弘会 トワーム小江戸病院 精神科医師 長島 一公 氏
		到達目標	・認知症の人を支える施策や仕組みを理解できる。 ・活用できる制度等について、本人・家族に説明できる。	
		主な内容	・地域包括ケアシステム ・認知症の人への支援体制（医療・介護・地域の連携） ・認知症の人を支える様々な仕組み ・若年性認知症の人への支援	
15：05～ 15：25 (20分間)	「意思決定支援」組み込み動画（20分）			動画
15：25～ 15：30 (5分間)	質疑応答			長島 一公 氏 青木 稔枝 氏